

整理番号 2021M-010  
補助事業名 2021年度 ICT社会における安心安全確保に関する補助事業  
補助事業者名 一般社団法人日本教育情報化振興会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

教育現場のICT安全安心対策研究実施のため2つのWGを設け、「情報モラル指導充実のためのWG」「情報活用能力（コミュニケーション力）育成WG」を二本柱として活動する。

#### ① 情報モラル指導充実のためのWG

- ・ 専門家、有識者11名からなる委員会の設置
- ・ 教育委員会等の要望に添った情報モラルセミナーの開催、研修テキストの作成実施
- ・ 新学習指導要領に合わせた新規開発教材作成

#### ② 情報活用能力（コミュニケーション力）育成WG

- ・ 専門家、有識者13名からなる委員会の設置
- ・ コミュニケーション力育成のための研修は、次の形式で開催する。
  - 研修は大規模なイベント（関西教育ICT展・教育の情報化推進フォーラム）とタイアップして、近隣の教育委員会等から教員に招集をかけ参加を募集
- ・ 新学習指導要領に合わせた新規開発教材作成

### (2) 実施内容

教育現場のICT安全安心対策検討委員会にそれぞれのワーキンググループ長を委員とした委員会を置き、そこに下記の2つのワーキンググループを設置し、それぞれの研究方法によりICTの安全安心活用について研究を実施している。

#### ① 「ネット社会の歩き方」情報モラルセミナー事業

(<https://www.japet.or.jp/activities/info-ut-ability-dev/info-moral-seminar/>)

地域の指導的な立場の教員に対し情報モラルが指導できるよう指導者育成を実施。主に情報モラルやセキュリティに関するセミナーを実施できる指導者を養成している。その指導教材としてセミナーで使用した教材・情報を提供している。さらに、家庭等でも「情報モラル」が親子のコミュニケーションの題材となるような新たな事例への対応を盛り込んだコンテンツ情報等の提供を行っている。

ネット社会の歩き方教材

(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>)

以下は、情報モラルセミナー風景。





袖ヶ浦市立総合教育センターでのセミナー風景（令和3年7月27日）



北海道佐呂間町教育委員会でのセミナー風景（令和3年7月30日）



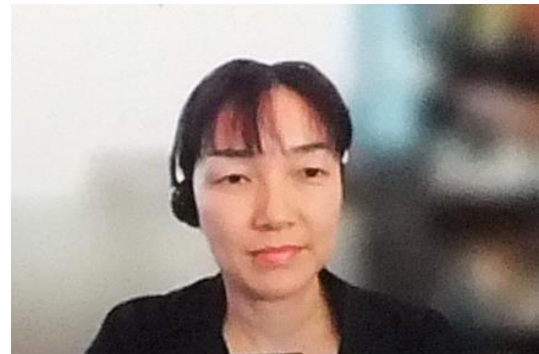
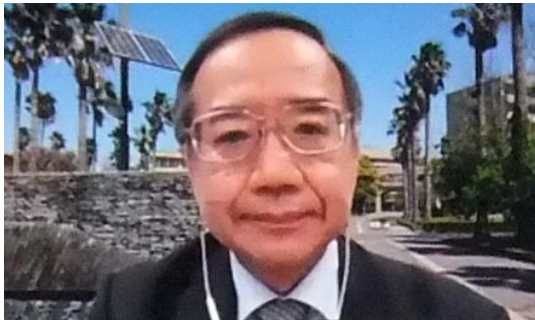
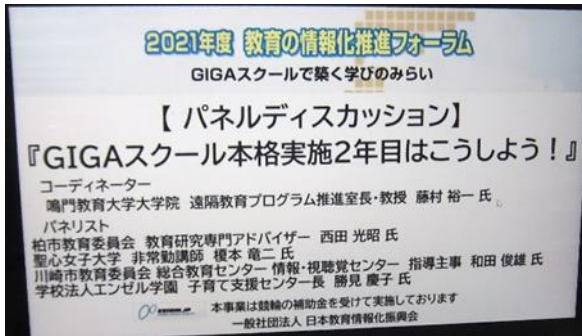
秋田県大潟村教育委員会でのセミナー風景（令和3年8月18日）



千葉県山武市教育委員会でのセミナー風景（令和3年8月23日）



沖縄県西原町教育委員会でのセミナー風景（令和3年12月8日）



教育の情報化推進フォーラムの風景（令和4年3月11日）

## ②情報活用能力（コミュニケーション力）育成のための事業

(<https://www.japet.or.jp/info-ut-ability/>)

2020年度から全面実施された小学校学習指導要領では、情報活用能力が言語能力に並ぶ「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられている。また、中央教育審議会（2016）幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）において、「情報活用能力とは、世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉えて把握し、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力のこと」としている。そして、情報活用能力の重要性が最初に指摘されてから、すでに30年以上経過しているが、教員の認知度は決して高いとはいえない状況である。

そのために、これからの「情報活用能力（コミュニケーション力）育成」を、学習活動の中にどのように取り込んでいくか、その取組を支援するセミナーを企画し、全国で実施した。今年度は、全国2地域（大阪、東京）で模擬授業形式のセミナーを開催する予定であったが、残念ながら東京会場は、新型コロナウイルスの爆発的流行の兆しと政府からの要請もあり、実践発表とパネルディスカッション形式に変え、開催した。また、大阪は、参加者を通常の半分以下で模擬授業を実施した。



関西教育ICT展内関西セミナー（インテックス大阪）（令和3年8月5日）



授業研究・熊本市立五福小学校（令和4年2月4日）

## 2 予想される事業実施効果

昨今のスマートフォンやのゲーム機、音楽プレイヤー等の普及、また国の「GIGAスクール構想」による児童生徒1人1台のPCの普及により、いつでもどこでもインターネットを利用できる環境が、学校現場にも急速に拡大した。この急激な変化により、児童・生徒がSNSや無料ゲームなどのコミュニティサイトで犯罪などに巻き込まれる事例も発生している。また、ネット上で子供達同士が誹謗中傷の発信を行うなど、コミュニケーション不足からのいじめが行われ、実際に痛ましい事件も発生している。

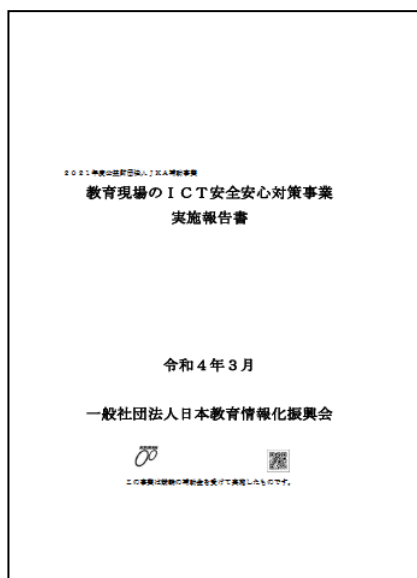
日本教育情報化振興会では、児童・生徒の安全安心を願い「教育現場のICT安全安心対策事業」を展開している、この活動は広く公開されているため、教育界だけではなく、保護者への啓発としても有効であり、地域、家庭での安心安全への意識を高めることができる。

## 3 補助事業に係る成果物

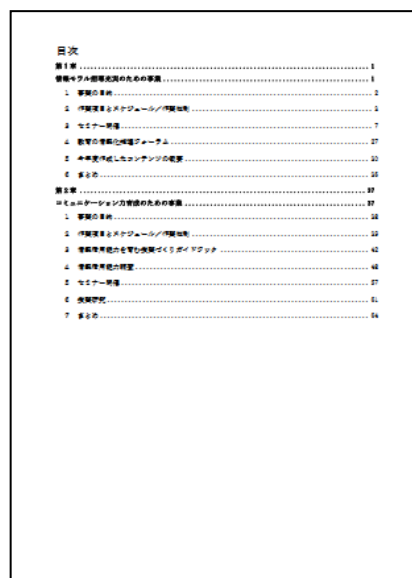
### (1) 補助事業により作成したもの

#### ①教育現場のICT安全安心対策事業実施報告書

(<https://www.japet.or.jp/activities/info-ut-ability-dev/>)



表紙



目次

地球環境保護の観点から、冊子での配布をやめ、WebサイトでのPDFデータ提供に変更した。全国の自治体に対しての案内として、当会の会報送付時（令和4年春号）に「教育現場のICT安全安心対策事業実施報告書」PDFのQRコードを同封して広報活動を実施した。

## ② ネット社会の歩き方情報モラル教材

2021年度新規開発した教材概要は次の通り

(<http://www2.japet.or.jp/net-walk/>)

### ● 新規学習ユニット10テーマ

アニメーションで様々な事象を確認しながら、情報モラルについて学習できるようになっている。

#### ① フェイクニュースにはだまされないぞ！

<校種>

中高

<教科>

学級活動・道徳・総合

<学習内容>

フェイクニュースを通して、情報の正しい見極め方を考え、フェイクニュースにだまされない姿勢を身に付ける。



#### ② ギーガのトリセツ

<校種>

小中高+保護者

<教科>

ホームルーム・生活・技術家庭  
情報・総合

<学習内容>

配布されたギガスクール端末の取り扱いについて、「壊さないように大切に扱う」ために、具体的にどのような場面で破損事故が発生しているかを知る。



#### ③ みんなで使うものだから

<校種>

小中

<教科>

学級活動・道徳・総合

<学習内容>

1人1台の環境では、ネットワークに



参加全員の情報がパスワードによって守られている。

みんなでネットワークを守る意識を持つことを身に付ける。

#### ④GIGA端末持ち帰り時の約束は？

<校種>

小中+保護者

<教科>

学級活動・総合

<学習内容>

GIGA 端末の持ち帰り時について、

なぜ約束が必要なのかを考え気づかせ、主

体的に活用できる態度の育成につなげる。



#### ⑤オンライン授業に参加しよう

<校種>

小中高+保護者

<教科>

ホームルーム・生活・技術家庭・

情報・総合

<学習内容>

オンライン授業に参加する時の留意事項を知った上で、考えられるトラブルや

マナーを整理する。



#### ⑥自分たちでルールをつくろう

<校種>

小

<教科>

学級活動

<学習内容>

スマートフォンやタブレット端末とうま

く付き合っていくために、自分の生活時間を

見直し、主体的なルールづくりを行う。



⑦人のフリ見て、我がルールを作れ！

<校種>

小中高+保護者

<教科>

ホームルーム・道徳・情報・  
技術家庭・社会

<学習内容>

ずっと続けたいスマホやタブレットの  
利用を、弟妹の問題行動を見ることで想起させ、第三者的に解決の意欲を持たせる。



⑧伝わらないね

<校種>

小中高+保護者

<教科>

ホームルーム・生活・技術家庭・  
情報・総合

<学習内容>

自分が伝えたいことは相手に伝わっていると思い込んでいるが、適切に伝わっていない場合がある。ネット上で疑問や不安に思ったときの対面コミュニケーションの大切さを考える。



⑨友達とのファイル共有は便利だ、でも注意して！

<校種>

小中

<教科>

学級活動・総合

<学習内容>

GIGAスクールでは、クラウドを  
活用した学習が、進められていく。  
一つのデータを互いに共有しあう、協業学習活動の利便性ととともに、意図しない  
トラブルもあることを学ぶ。





⑩一人で悩まず助けを求めよう

<校種>

小中高

<教科>

学級活動・道徳・総合

<学習内容>

学校のSNS友達グループの中で、  
仲間外れになった場合、一人で悩まず、学校の先生や保護者、公的な相談窓口  
に相談することで、苦しみを少しでも和らげることができることを知る。



●情報とネット社会のしくみ (GIGAスクール構想対応パッケージ)

小学校高学年以上を対象とした図鑑型教材。「情報」を科学的に理解することで、  
ネット社会への対応力を育てることを目的としています。本教材は以前に発行した同  
様の教材に、GIGAスクール構想に対応した内容を盛り込んだ内容になっている。

GIGA 端末の使用上のメリット・デメリットと GIGA スクール構想が目指す人材像  
などの他、コミュニケーションの仕組みや特性、インターネットの仕組み、そしてネ  
ットを使う上での注意点や好例を掲載。幅広くネット社会のしくみが理解できる。



●情報モラルポータルサイト（GIGAスクール構想対応パッケージ）

小学生・中学生・高校生を対象に、省庁・企業・団体がインターネット上に公開している情報モラルの学習に役立つ資料を一挙にまとめたポータルサイト。さまざまなテーマごとに掲載している。



③情報活用能力（コミュニケーション力）育成のための教材

●情報活用能力を育む授業づくりガイドブック 冊子教材

2020年度に、学習プロセスに情報活用能力を位置づけた指導指標である「情報活用能力ベーシック」を開発し、2021年度は、その「情報活用能力ベーシック」を授業計画や授業の中でどのように活用していくか、教科ごとの事例も含めたもので解説し、合わせて中学校版の理科と社会における「情報活用能力ベーシック」を追加したものをガイドブックとしてまとめた。

以下の4つの柱となる。

- (1) 主要4教科の低・中・高学年ごとの情報活用能力ベーシックを開発
- (2) 中学校版理科／社会の情報活用能力ベーシック
- (3) 教育委員会での活用方法／校内研修での活用方法／若手教員への活用方法／情報活用育成研究校の活用方法
- (4) 11教科の情報活用能力ベーシックを活用した実践事例



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの  
特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人日本教育情報化振興会

(イッパンシャダンホウジンニホンキョウイクジョウホウカシンコウカイ)

住 所： 〒107-0052

東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル 8階

代 表 者： 会長 山西 潤一 (ヤマニシ ジュンイチ)

担当部署： 調査・研究開発部 (チョウサケンキュウカイハツブ)

担当者名： 部長 吉田 真和 (ヨシダ マサカズ)

電話番号： 03-5575-5365

F A X： 03-5575-5366

E-mail： [myoshida@japet.or.jp](mailto:myoshida@japet.or.jp)

U R L： <https://www.japet.or.jp/>